



地域日本語支援ニュース こだま 第 304 号

2016.9.22



★—メールマガジンをお読みいただき、ありがとうございます—★

【地域日本語支援ニュース こだま】は、日本語教育に関する事業を全国で行っている公益社団法人国際日本語普及協会(AJALT)発行のメールマガジンです。各地域で在住外国人に対する日本語・生活支援に携わっている方々に役立つ情報の共有を目指していきます。

====目次=====

1■ともに生きる■

私の経験から今の私がある

王 露揺 (おう ろよう)

2■高校進学進路ガイダンス情報 (9、10 月) ■

=====

1■ともに生きる■

私の経験から今の私がある

王 露揺 (おう ろよう)

王 露揺さんは、都内の大学に今春入学した女子大学生です。7歳で来日後、小学校時代に一旦帰国と再来日を経験し、今に至ります。転校を繰り返す中で、日本と中国の言葉、学校文化の違いに戸惑いつつも、乗り越えてきた今、新たな夢に向かおうとしています。王さんにこれまでの自分を振り返って書いていただきました。

◇7歳で初来日

私は 2005 年の 6 月に初めて日本にきました。父の仕事で、家族と一緒に来日し生活し始めました。その当時の私は 7 歳で、中国では小学校 1 年生の年齢ですが日本は春に進学するので、私は早生まれのため小学校 2 年生として、日本の公立小学校に入学しました。1 年生なのに急に 2 年生になるということに

子供の時の私は少し怖く感じました。両親は共に中国人で、母は全く日本語ができませんでした。最初は生活がとても大変で、母は親戚に、近所のスーパーやコンビニまた薬局病院などを教えてもらいました。中国にいたころは、コンビニのような小売店より、野菜市場のような場所で買い物することが多かったため、母はどこで買い物したらいいのか悩みました。でも1か月経つと、だんだんと日本の生活に慣れました。

小学校に通い始めると、日本の学校は中国と全く違っているとわかりました。中国にいた時は、通学や帰りは母が迎えに来るというのは普通でしたが日本は違いました。ほとんどの子供は自分で家に帰るということに気づき、私は日本の子供は自立していると思いました。まだ7歳の子供だったせいかすぐに学校に慣れ、わからないうちに基礎的な日本語からだんだんと話せるようになり、2年生後半になると先生も友達にも普通の「日本人」に思われるほど日本語ができるようになりました。

◇中国の寮制の小学校へ

でも3年生になると、母は私が中国語をうまく話せないということに気づきました。母は中国人なので中国語が話せなかったら大人になると恥ずかしいと考えて、私を寮制の中国の私立の小学校へ送り返し中国語の勉強をさせました。私はまた一から中国語を覚え、幸いその年の小学校の勉強はそれほど難しいものではなかったので、ついていくことができました。中国に戻った時の私は色々なことに改めて慣れなければなりませんでした。中国では水道水をそのまま飲めないということを忘れたせいで、お腹を壊したこともありました。2年ほど中国の学校に通った後、私は日本語をすっかり忘れました。

◇再び日本へ

母は家族で生活したほうが良いと考え、私はまた日本の小学校に入学しました。そこから私はずっと日本で勉強し、今年国士舘大学に入学しました。私は子供の時の性格はどちらかというと静かな方でしたが、色々な所を転々としたせいか「明るくて、いっぱい話した方が友達が作れる」と思い始め性格は真逆に変わりました。

私は日本語ができないから友達もできない、また日本語ができないから授業についていけないなどの悩みもありました。でも、「なんでも上手くいくはずは

ない。一つのことを始めるには勇気や努力は必要。最初は辛い、一生懸命頑張れば必ずできるようになる。」私は母からそう教えられました。子供は励ますと成長します。母は、私を、励まして、励ましてくれて、私はいつの間にか学校が楽しくなりました。私は、友達を作りたいという気持ちから日本語を上手に話したいと思い始めました。学校にいる時にはできるだけ皆と日本語で話し、間違っても恐れずに話しました。中国語を忘れないように家では両親とは中国語でコミュニケーションをとりました。

◇目標ができた

このような経験をしたからこそ、今の私はあると思っています。私は小学校から今まで、色々な場面で日本語の先生にお世話になり、私も将来私のような日本語に困っている人々の助けをしたいと思い始めました。今、大学では日本語教員になるために勉強しています。今日本では、私のような日本語を母語としない子供がいます。その子供達は努力をし、頑張って日本語を覚えようとしています。その子達を助けられるように、自分の日本語能力を高め大学で専門知識を学習し、将来日本語教員になることを目標に頑張っています。
